

名木沢楯跡
発掘調査報告書

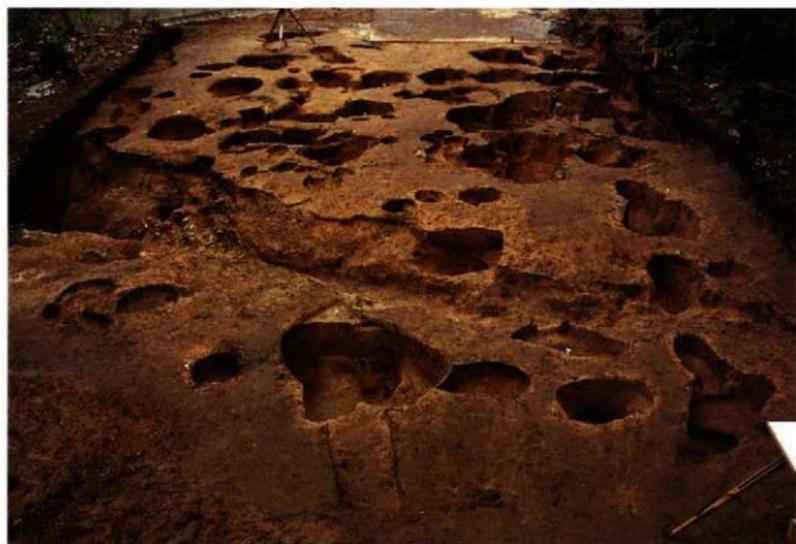
1993

山形県
山形県教育委員会

名^な木^ぎ沢^{さわ}楯^{たて}跡
発掘調査報告書

平成5年3月

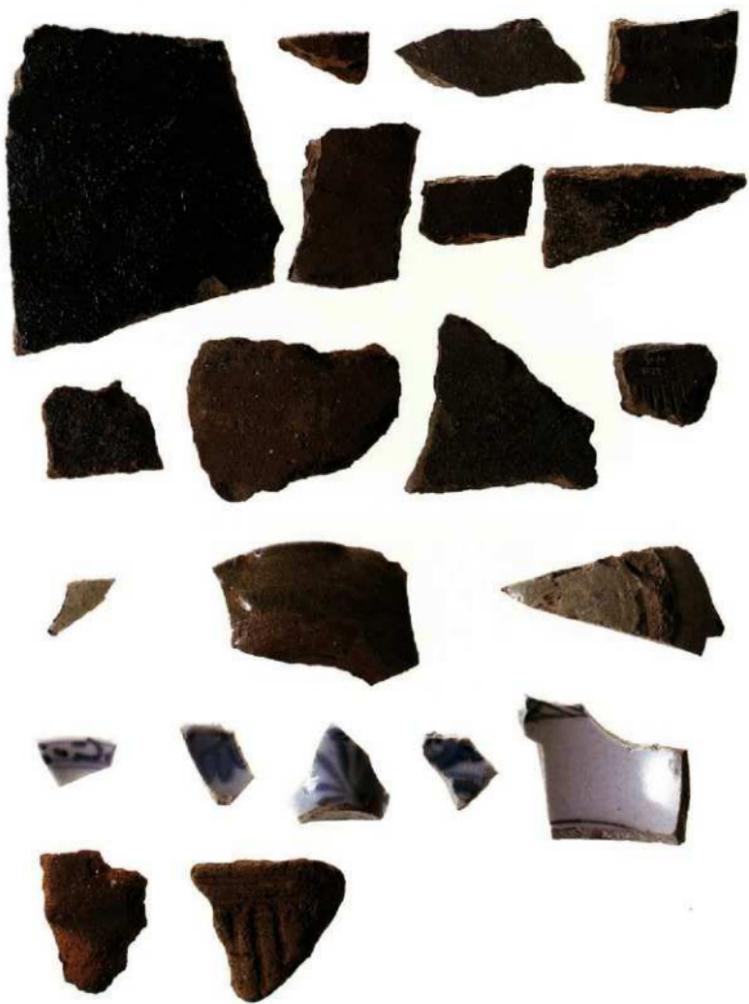
山 形 県
山形県教育委員会



土坑群



SE1 井戸跡



序

本書は平成4年度に山形県教育委員会が発掘調査を実施した名木沢稲跡の調査成果をまとめたものです。

名木沢稲跡は山形県の北東部に位置する尾花沢市に所在します。自然豊かな尾花沢市には縄文時代の遺跡をはじめ数多くの遺跡が所在し調査されています。今回の調査では、井戸跡や溝跡、柱穴跡、旧羽州街道跡が確認されています。

埋蔵文化財は私たちの祖先が長い歴史の中で創造し育んできた貴重な国民的財産であり、一度壊してしまえば二度と元に戻らないものです。調査により明らかにされた遺跡は過去の生活の有様を彷彿と再現してくれるものです。祖先の歴史を学ぶとともに愛護し子孫へと保存し伝えていくことが、現代に生きる私たちに課せられた重要な責務といえるでしょう。

山形県教育委員会では、「心広くたくましい県民の育成」と地域文化の環境づくりと言う立場から、今後とも県民福祉の向上を目的とした地域社会の整備と調整をはかりながら、埋蔵文化財の保護に努力を続けていく所存であります。

本書が埋蔵文化財に対する保護思想の普及もかねまして、皆様のご理解の一助となれば幸いと存じます。

最後になりましたが、調査においてご協力をいただいた地元の方々をはじめ関係各位に心から感謝申し上げます。

平成5年3月

山形県教育委員会教育長 木場清耕

例 言

- 1 本書は山形県教育委員会が平成4年度に実施した「農免農道整備事業（舟戸地区）」に係る「名木沢插跡」の緊急発掘調査報告書である。
- 2 調査期間は、平成4年10月12日～11月6日の延べ20日間である。
- 3 調査については、北村山地方事務所耕地課・尾花沢市教育委員会・北村山教育事務所並びに名木沢地区はじめ尾花沢市の方々から協力を得た。ここに記して感謝申し上げる。
- 4 調査体制は以下の通りである。

調査主体 山形県教育委員会
調査担当 山形県埋蔵文化財緊急調査団
調査担当者 事務局長補佐 佐々木洋治（調査担当）
主任調査員 齊藤主税 真壁 建
事務局 事務局長 深瀬征二
事務局長補佐 鈴木常夫
主任事務員 永井健郎
事務員 渋谷正義・松本明美・志田恵子
- 5 本報告書の作成は、齊藤主税・真壁建が担当した。本書の編集は齊藤主税・真壁建・安部実が担当し、全体については佐々木洋治が総括した。
- 6 出土遺物については、山形県教育委員会が一括保管している。

凡 例

- 1 本書で使用した遺構の分類記号は次のとおりである。

SD：溝跡 SE：井戸跡 SK：土坑 SP：小穴 EP：柱穴
- 2 本書の執筆基準は下記の通りである。
 - (1) 遺構全体図・遺構実測図中の方位は磁北を示している。
 - (2) 遺構実測図は、1/40、1/60、1/160、1/200、1/500、1/2500の縮図で採録した。
 - (3) 遺物実測図・拓影図は1/3で採録した。
 - (4) 土器陶磁器類の断面実測に関しては、断面の右に内面、左に外面を現した。
 - (5) 遺構覆土の色調については、昭和45年度版農林省農林水産技術会議事務局監修の「新版標準土色帳」に拠った。

目 次

| | |
|---------------------|------------------|
| I 調査の経緯 | III 遺 構 |
| 1 調査に至る経過 …………… 1 | 1 遺構の分布 …………… 2 |
| 2 調査の概要 …………… 1 | 2 検出遺構 …………… 4 |
| II 遺跡の立地と環境 …………… 1 | IV 遺 物…………… 4 |
| | V 調査のまとめ…………… 15 |

挿 図

| | |
|--------------------|--------------------|
| 第1図 遺跡位置図 …………… 2 | 第6図 遺構図(2)…………… 10 |
| 第2図 調査概要図 …………… 3 | 第7図 遺構図(3)…………… 11 |
| 第3図 調査区全体図 …………… 5 | 第8図 遺構図(4)…………… 12 |
| 第4図 遺構全体図 …………… 7 | 第9図 遺物図 …………… 14 |
| 第5図 遺構図(1)…………… 9 | 第10図 縄張り図…………… 16 |

図 版

| | |
|---|-------------------------------------|
| 巻頭図版1 土坑群・SE1井戸跡 | 図版9 SE1検出状況・SE1 |
| 巻頭図版2 出土遺物 | 図版10 SD6 |
| 図版1 遺跡遠景 | 図版11 SD6西側断面・EP11~34 |
| 図版2 調査前状況・旧羽州街道 | 図版12 SK7・71・82・89・90・97・ EP9 |
| 図版3 旧羽州街道の北側遺構検出状況 | 図版13 EP10・12・16・17・18 |
| 図版4 旧羽州街道の南側遺構検出状況・ 完掘状況 | 図版14 EP19・20・21・25・26・32・29 ~31 |
| 図版5 旧羽州街道南側完掘状況 | 図版15 EP33・35・38・40・41・65・66・ 103 |
| 図版6 旧羽州街道北側完掘状況 | 図版16 陶器 |
| 図版7 SK7から東側(西から)・SD6 から北側(西から) | 図版17 磁器 |
| 図版8 SK89(右)SK90(左)(北か ら)・旧羽州街道断面(南西から) | 図版18 土塁 空濠 |

I 調査の経緯

1 調査に至る経過

名木沢橋跡は空壕や土塁が山林中に良好に残り、地元では織部橋と呼ばれ古くから知られていた。ここに農免農道が建設されることになり、平成2年に橋梁工事が行われ、調査を行わず一部破壊してしまった。

このような経緯から県教育委員会では平成3年秋に遺跡の範囲や性格を明らかにして事業計画との調整を図る目的で、表面踏査及び試掘調査を実施した。試掘調査は農道新設予定地に限定し、建設計画のセンター杭や幅杭を基準としながら5m×1mの試掘坑を7カ所設定し掘り下げた。その結果、各試掘坑から隅丸方形ないし楕円形の柱穴や土坑が検出され、中世から近世にかけての陶磁器が20片ほど発見された。

この農道予定地から西側にかけては、緩やかな斜面が舌状に張り出している場所にあたるため橋跡にかかわる施設の存在が予測された。

以上の結果をもとに県教委員会では北村山地方事務所耕地理課、尾花沢市教育委員会等の関係機関と協議を重ね、この度工事に先立ち記録保存のための緊急発掘調査を実施した。

2 調査の概要

今回の調査は農道の路線内を対象として実施した。調査は調査区内の草刈雑木払いから始めた。次に重機械を使い表土除去し地山まで掘り下げた。その後機械で掘り下げた面をジョレンなどで平らに削り、土色土質の変化により建物の柱や井戸跡、土坑などが検出された。調査区には5mグリッドを設定した。

このようにして発見された柱穴や井戸跡は土層を確認しながら掘り下げ、断面図や平面図の作成及び写真撮影による記録を行った。

この名木沢橋跡周辺は以前から交通の要衝で、古くは旧羽州街道が橋内を通り、また新しくは国道13号が橋の北側を通り共に橋を破壊している。調査面積は約700㎡で現地調査は平成4年10月12日から11月6日まで行われた。

II 遺跡の立地と環境

名木沢橋跡の所在する尾花沢市は山形県北東部に位置し、奥羽山系に囲まれ、臘気・丹生・野尻の諸河川が流れる尾花沢盆地を中心としている。名木沢橋はこの尾花沢市城北に所在し、すぐ東隣を国道13号と近世の羽州街道が通っている。この付近は最上川が大きく蛇行し西に口を開いた巾着状となっている。名木沢橋跡はこの最上川がまさに名木沢集落にぶつかるうとする手前の名木沢川との合流点の南側、最上川右岸の標高約80mの河岸段丘上に立地する。

古来から、この地域は宮城県側や新庄方面に抜ける街道筋にあたり交通の要衝であり、また最上川に面するこの橋は舟運との関わりが窺える。橋は大字名木沢字上の原に所在する。橋内部と最上川の川面との比高差は高い所で30mあり、橋の西側は天然の要害をなしている。江戸時代、天明7(1787)年の「名木沢村差出明細帳」には「一、古館・城跡

老ヶ所」とあり、当時から村の人々に知られているが、国分織部の桶という伝承以外は史料が見つかっていないため、詳細は不明である。

名木沢橋周辺の遺跡には、同じ戦国時代と思われる芦沢橋・野尻橋などもあるが、ほとんどが縄文時代の遺跡である。縄文時代の遺跡は、桶と同じように河岸段丘上に立地する。近隣の遺跡では昭和55年に尾花沢市教委により毒沢遺跡が調査され縄文時代の土坑等が検出されている。

Ⅲ 遺 構

1 遺構の分布

名木沢橋跡では表土下50cm～70cmで遺構が検出された。柱穴跡・土坑・井戸跡・溝跡である。この他に桶跡と直接関係ないが調査区北寄りを西から東へ近世の羽州街道が横断している。規模は幅10m、深さ1～1.5mを測る。建設はかなり大規模な土木工事であったと推測される。

羽州街道の南側では柱穴跡が多数検出され、規則的に配置され建物跡を構成する様だが明確な建物は分からない。これらの柱穴の中には柱が据えられた痕跡が残っているものもあるため、何らかの建物ないし欄間などが存在していたのは間違い無いと見られる。その時期については、EP4から中世陶器が僅かに検出されているだけで明確でないが、覆土の状態も考慮すると中世に属すると見られる。



| | | | | |
|----------|------------|-----------|----------|----------|
| 1 名木沢橋跡 | 2 一本松遺跡 | 3 烏捕場遺跡 | 4 毒沢遺跡 | 5 下原遺跡 |
| 6 上の台遺跡 | 7 次年子川口遺跡 | 8 上ノ原遺跡 | 9 白鷺A遺跡 | 10 白鷺B遺跡 |
| 11 墓地南遺跡 | 12 芦沢橋跡 | 13 ミヨシ原遺跡 | 14 三光坊遺跡 | 15 駒籠C遺跡 |
| 16 駒籠D遺跡 | 17 菅林若苗圃遺跡 | 18 野尻A遺跡 | 19 野尻B遺跡 | 20 野尻橋跡 |

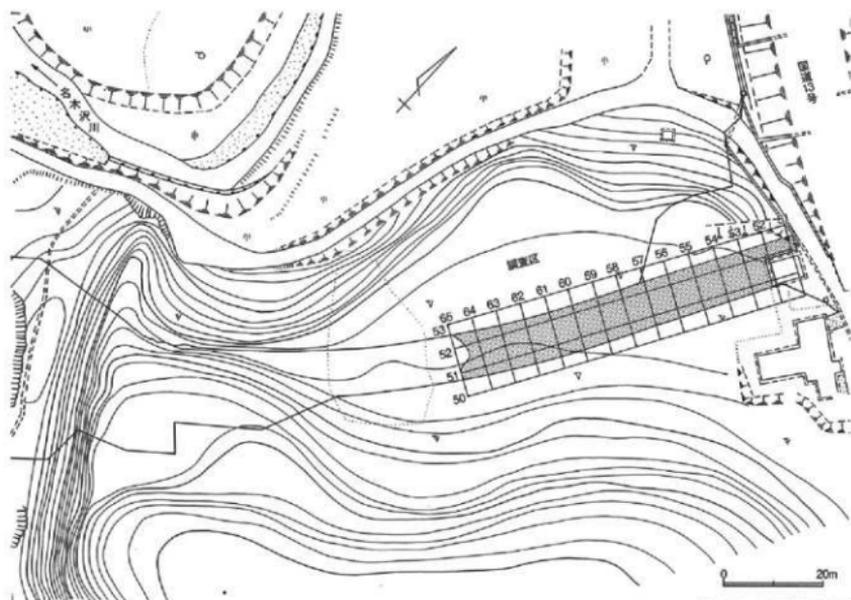
第1図 遺跡位置図

このほか調査区南端では石組みの井戸跡（SE1）が見つっている。上面から近世陶器が出土しているため、その時期が考えられる。

羽州街道の北側には大きな溝跡SD6が検出され、中世陶磁器が数点出土している。この地区では他に多数の土坑が重複して検出され掘り下げられたが、遺物はほとんど出土していない。覆土の状態もほとんどが埋められた土で、よく新しい時期（近現代）の土坑攪乱に見られる様な土層堆積状態である。

遺物は上記の他に表土中に近世陶磁器数点とSX3から縄文土器が1点出土しており付近での縄文時代の遺跡の存在が窺える。

調査区の南側には名木沢橋跡の遺構が良好に残っている。橋跡は最上川の河岸段丘の縁を土塁と空堀で区画しており、主郭と副郭の二郭で構成されている。橋全体の大きさは推定東西140m×南北80mである。現在は副郭には部分的にしき空堀（二重堀）は廻っていないが当時は全体を囲っていたと考えられる。虎口（出入口）は主郭の二箇所が明確に認められる。副郭の方は確認できなかったが、主郭同様に虎口があったことは間違いないと思われる。虎口は折り曲げられ、簡単に橋内に入り込めないよう工夫がなされている。近年、最上川の流路が変わり流れが直接橋部分にぶつかるようになり、そのため少しずつ侵食され、崖が崩落し主郭が狭くなってきている。



第2図 調査概要図

2 検出された遺構

井戸跡

SE1は調査区の南端で検出された。SK61が重複している。上面から1の肥前陶器が出土している。規模は直径約2mを測り、石積みによる円形を呈する井戸跡である。表土下10cmから礫の堆積が見られ、表土から深さ120cmまでの掘り込みが確認された。覆土は黒色土を主体にする。

柱穴

いわゆるアタリが見られる小穴が多数検出され柱穴とした。旧羽州街道の南側で多数検出されている。直線的に並列して検出されているものが多いが建物として確認されたものはない。柱穴は調査区の外にも延びており、建物の可能性が考えられる。あるいは欄列様の構築物も考えられる。旧羽州街道の北側にも小穴は見られるがアタリが検出される確実な柱穴は少ない。

規模は径30cm～80cmで小型のものが多く、確認面からの深さは20cm～50cmである。小型や中型で浅いものが多い。

土坑

旧羽州街道の北側に密集して多数検出された。覆土は人為的に埋め戻されたものが多い。この周辺は大規模な埋め戻し作業が行われた可能性が高い。規模は1m以上の大型のものが多く、重複や並列するものも多く見られる。4・9・11・12など中世陶器や近世磁器が僅かに出土していることから近世から中世の時期が考えられる。

溝跡

旧羽州街道北側でSD6が検出されている。規模は幅が西側で2m以上、東側で30cmを測る。深さは東端で約1.3m、西側では30cmと浅く、東から西へ傾斜している。5～8の陶器片が出土している。よって中世の所産と見られる。

旧羽州街道

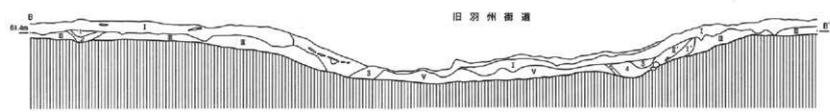
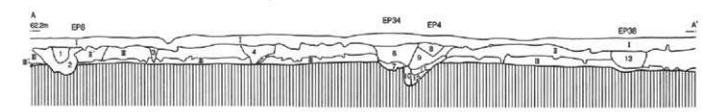
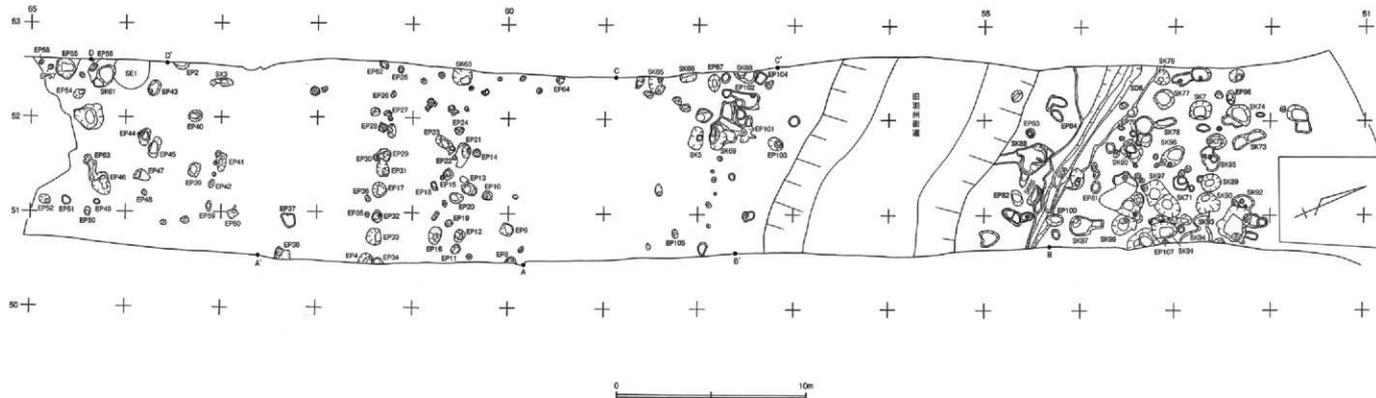
グリッド55-57付近を旧街道が横断している。形状は逆台形～U字型を呈する。現況では深い所で60cm程掘り込まれていた。遺物は出土していない。

IV 遺物

1はSE1上面から出土している。肥前陶器の皿の口縁輪花で灰軸が施される。16世紀末～17世紀初頭に比定される。2～9、12～14は中世の瓷器系陶器堯類である。7は鉢、14は撞鉢である。10は瀬戸美濃灰軸碗、漆継で16世紀と見られる。11・15・17・18は近世、肥前陶器。11・17は皿、15は碗で外面青磁軸、内面染付け。18は小型瓶。19は産地不明の近世陶器。20は縄文時代前期の半截竹管文土器。21は土師質土器である。

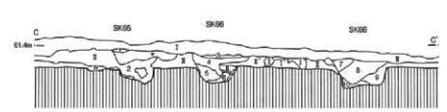
EP4から中世陶器が僅かに検出されている。

他に表土中に近世陶磁器15・17～19・21とSX3から20の縄文土器が1点出土している。



- B-B'**
- 1 黒褐色土 (I層とII層より) III層土 (黒砂) を少量含む
 - 2 黒褐色土 褐色粘土粒を少量含む
 - 3 黒褐色土 (I層と黒土を含む) コンクリートの跡が残っている
 - 4 暗褐色砂
 - 5 黒褐色土 少量多量

- 基本層序**
- I 表土25YR2/1黒色土
 - I 層土に細砂を含む
 - I 層土に粗砂を含む
 - 25YR5/4にI層土
 - 25YR5/4にI層土
 - 黒土、黄褐色土を少量含む
 - 黄褐色砂 (部分灰白色砂あり)

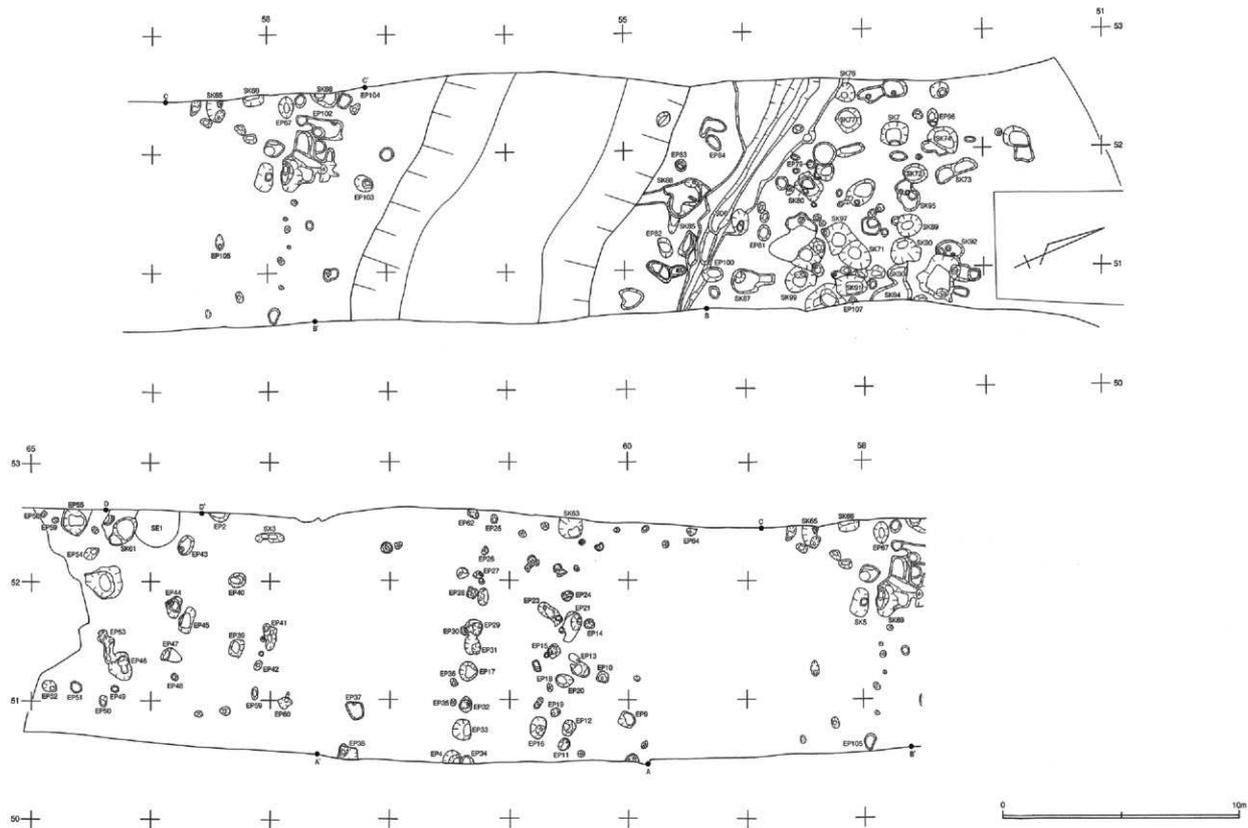


- D-D' (SE1上面)**
- 1 25YR5/4明黄褐色土 I・II層土を多量に含む (黒土)
 - 2 10YR2/2黒褐色土 黄褐色土粒わずかに含む
 - 3 10YR2/1黒色土
 - 4 10YR2/2黒褐色土 黄褐色土粒を多量に含む

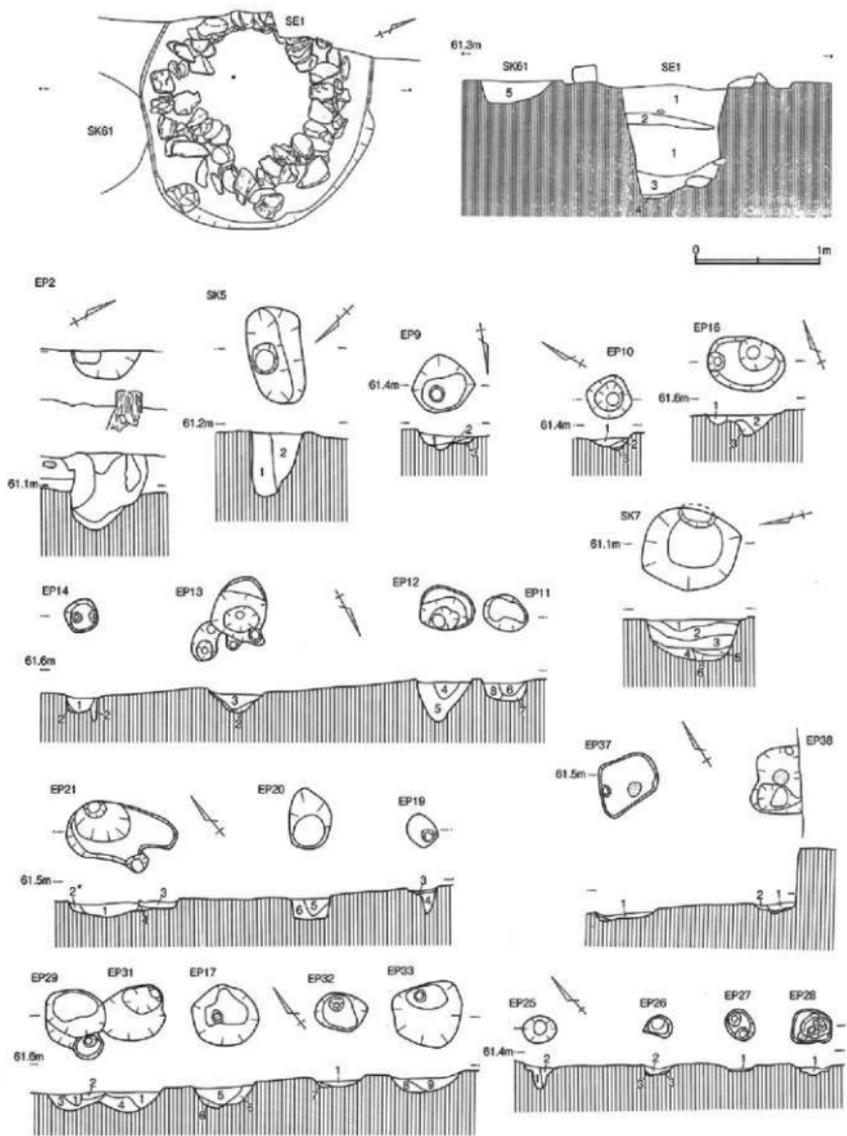
- A-A'**
- 1 25YR2/1黒色土
 - 2 10YR2/1黒色土 黄褐色粘土粒を含む、炭化粒を含む
 - 3 10YR2/1黒色土 10YR8/1灰白色粘土粒を含む
 - 4 10YR2/1黒色土 黄褐色土粒、黒土粒を含む
 - 5 10YR2/2黒褐色土
 - 6 10YR2/2黒褐色土 黄褐色土粒を全体に含む
 - 7 25YR2/1黒色土 黄褐色土粒を少量含む
 - 8 10YR2/2黒褐色土 黄褐色土粒を少量含む
 - 9 10YR2/1黒色土 黒土粒、黄褐色粘土粒を下部に多量に含む
 - 10 10YR2/1黒色土 灰白色粘土粒、黄褐色土粒を若干含む(アクリ)
 - 11 10YR2/2黒褐色土 黄褐色土粒、黒土粒を少量含む
 - 12 10YR2/2黒褐色土 黄褐色土粒、黒土粒を多量に含む
 - 13 10YR2/2黒褐色土 黄褐色土粒を多量に含む

- C-C'**
- 1 10YR3/2暗褐色土 黄褐色砂粒若干含む 黒土を多量に含む
 - 10YR2/2暗褐色土 黄褐色砂粒、ブロッカ、黒土粒を含む
 - 10YR2/2暗褐色土 黄褐色土粒を少量含む
 - 10YR2/1黒色土 黄褐色土 1の上層を顕微鏡に含む
 - 10YR3/2暗褐色土 黄褐色土粒を含む
 - 10YR2/2暗褐色土 黄褐色土粒を含む
 - 25YR5/4にI層土
 - 10YR2/2暗褐色土 黒土粒、黄褐色土粒を全体に含む
 - 10YR2/2暗褐色土 (黒土) 黒土、黄褐色土を全体に含む
 - 10YR2/2暗褐色土 黄褐色砂ブロッカ粒を含む

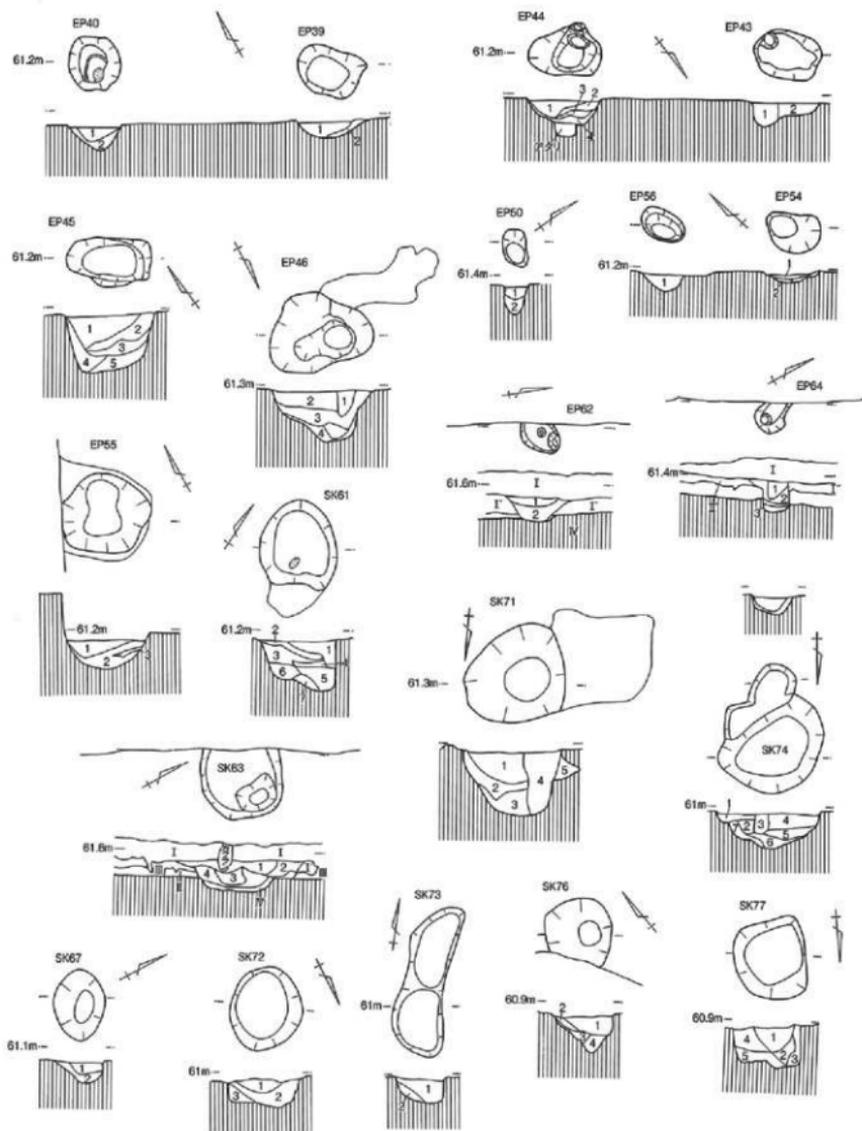
第3図 調査区全体図



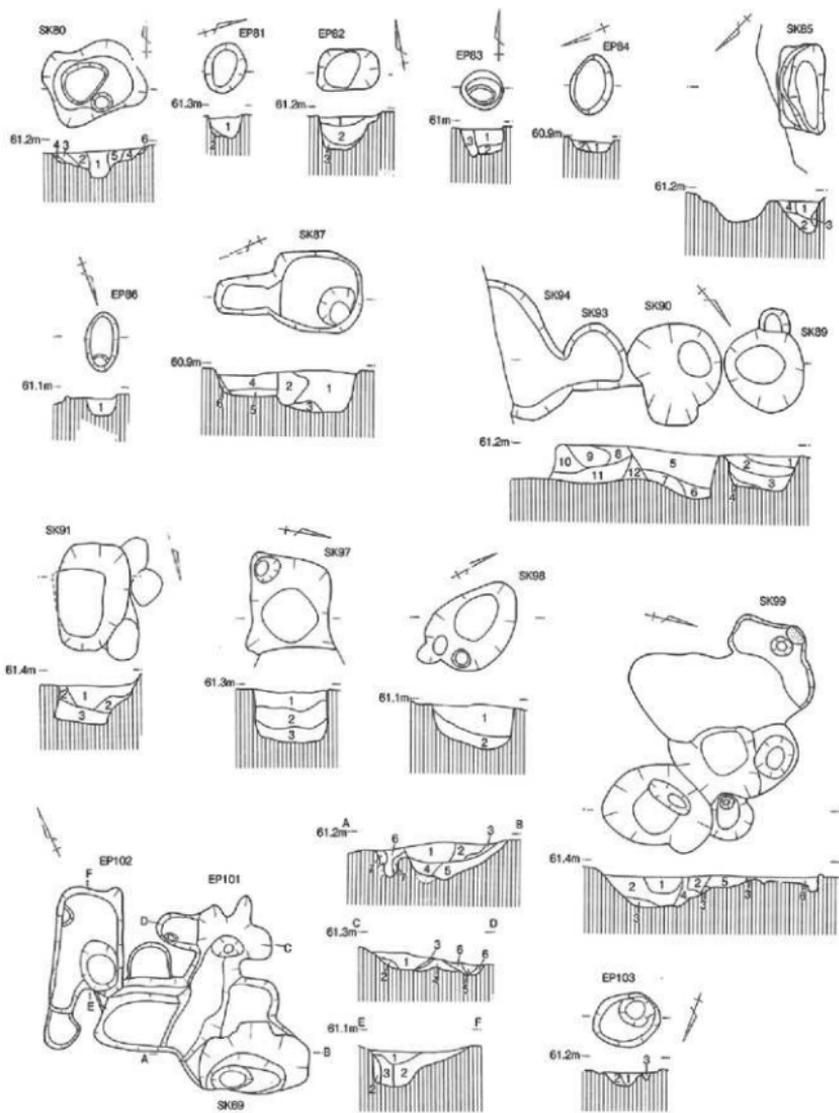
第4图 遺構全体区



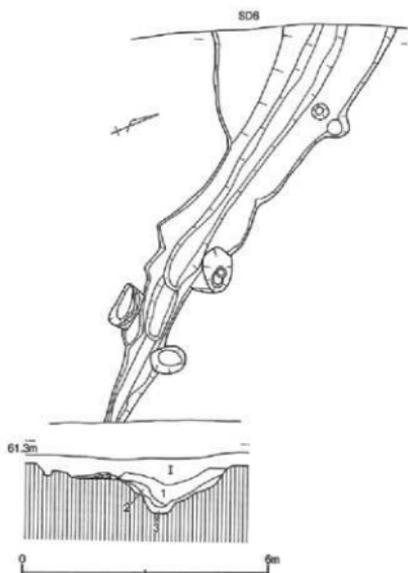
第5図 遺構図(1)



第6図 遺構図(2)



第7図 遺構図(3)



- SD6
 1 10YR3/2黒褐色土 黄土
 1 10YR2/2黒褐色土 10YR6/4明黄褐色砂質粘土を
 構層状に多量に含む
 2 10YR4/4褐色砂 1の土を少量含む
 3 10YR2/3黒褐色土(砂質) 部分的に礫を多量に含む
 元+礫層なのか、又は敷かれたものか

第8図 遺構図(4)

土層解説

SE1

- 1 黒色土 大塚、小塚少し混入
- 2 黒色土 白色粘土多く混入
- 3 黒色土 黄褐色土、磁器、大塚少し混入
- 4 暗黒腐層 大穴入り

SK5

- 1 黒色土 黄褐色土粒多く混入、小塚混入
- 2 黒色土 黄褐色土ブロック、礫多く混入

EP9

- 1 黒色土 黄褐色土ブロック少量混入
- 2 黒色土 黄褐色土粒、白色粘土を多く混入
- 3 埴山 黄褐色土

EP10

- 1 黒色土 黄褐色土粒わずかに混入
- 2 黒色土 黄褐色土、及び同粒土多く混入
- 3 白色粘土質土

EP13・EP14

- 1 黒色土 黄褐色土粒少量混入
- 2 埴山 黄褐色土
- 3 黒色土 黄褐色土ブロック少量混入、同粒土も混入
- 4 黒色土 暗黒土(灰?) 白色粘土、黄褐色土粒を多く混入
- 5 黒色土 黄褐色土粒、白色土粒を混入
- 6 黒色土 白色粘土粒、黄褐色土粒多く混入
- 7 黒色土 白色粘土ブロック多く混入
- 8 黒色土 黄褐色土、白色土粒を多く混入

EP16

- 1 黒色土 黄褐色土粒わずかに混入
- 2 黒色土 黄褐色土ブロック、白色粘土ブロック混入
- 3 黒色土 黄褐色土ブロック、白色粒多く混入

EP21・EP20・EP19

- 1 黒色土 黄褐色土ブロック、黄褐色土粒を多く混入
- 2 黄褐色土 黒色土粒を少量混入
- 3 黒色土 黄褐色土粒を少量混入
- 4 埴山 黄褐色土
- 5 黒色土 白色粘土ブロック混入、黄褐色土粒を少量混入
- 6 黒色土 白色粘土ブロック、黄褐色土ブロック、同粒土多く混入

EP25・EP26・EP27・EP28

- 1 黒色土 黄褐色土ブロック、及び黄褐色土粒混入
- 2 黒色土 黄褐色土粒わずかに混入
- 3 埴山 黄褐色土

SK5

- 1 暗黒土 黄褐色土粒少量混入
- 2 灰黄褐色砂 黄褐色土ブロック、黒色土をまだらに混入
- 3 灰黄褐色砂 黒色土少量混入
- 4 灰黄褐色砂 黄褐色砂を混入

EP29・EP31・EP17・EP32・EP33

- 1 黒色土 黄褐色土粒多く混入
- 2 黒色土 黄褐色土粒少量混入
- 3 黒色土 黄褐色土ブロック同粒土を多く混入し白色土ブロックを混入する
- 4 黒色土 3と混入が黄褐色土ブロック、白色土ブロックを多く混入する
- 5 黒色土 黄褐色土ブロック、同粒土を少量混入し、白色土ブロックも混入する
- 6 黒色土 黄褐色土、黄褐色土粒を多く混入
- 7 埴山
- 8 黒色土 34と混入が白色土ブロックを混入しない
- 9 黒色土 1と混入が黄褐色土ブロックも混入している

EP39

- 1 7.5YR2/1黒色土 10YR6/4に多い黄褐色土粒を粒状に含む
- 2 10YR6/4に多い黄褐色土 1を多量に含む

EP40

- 1 10YR2/1黒色土 に多い黄褐色土粒を小粒状に含む
- 2 10YR2/1黒色土 に多い黄褐色土粒を粒状に多量に含む

EP43

- 1 10YR2/2黒色土 明黄褐色土粒を全粒に含む
- 2 10YR2/1黒色土 明黄褐色土粒を少量含む
- 3 10YR4/6褐色砂 (埴山) を少量含む

EP44

- 1 10YR2/2黒色土 明黄褐色土粒を粒状に多量に含む
- 2 10YR2/1黒色土 明黄褐色土粒を若干含む
- 3 10YR4/6褐色砂 2の土を多量に含む
- 4 7.5YR2/1黒色土 10YR4/6褐色砂少量含む

EP50

- 1 10YR2/1黒色土 黄褐色土粒を多量に含む
- 2 10YR2/1黒色土 黄褐色土粒を若干含む

EP54

- 1 7.5YR2/1黒色土
- 2 7.5YR2/1黒色土 黄褐色土粒を多量に含む

EP56

- 1 10YR/1黒色土 埴山黄褐色砂

EP62

- 1 10YR3/1黒褐色土 黄褐色土粒を含む
- 2 10YR2/1黒色土 黄褐色土粒少量含む

EP64

- 1 10YR2/2黒褐色土 黄褐色粘土粒を多量に含む
- 2 10YR2/1黒色土 黄褐色粘土粒を多量に含む
- 3 7.5YR2/1黒褐色土 黄褐色粘土粒を多量に含む

SK62-64

- 1 灰土5YR2/1黒色土
- 1' 1層土に地山粒を含む
- 1'' 1層土に下層土を含む
- 8 7.5YR1、7/1黒色土 (生結節)
- 9 7.5YR5/4Cにぶい褐色粘土
- 10 10YR5/6黄褐色粘土 (地山)

EP67

- 1 10YR2/1黒色シルト しまっている。ほぼ均一
- 2 10YR2/1黒色シルト 地山 (10YR5/6黄褐色粘質土質シルト) 5%含む。地山を露露り状に40%含む

EP65

- 1 10YR2/2黒褐色土 (EP44)と同じ 明黄褐色粘土質粒を多量に含む
- 2 10YR2/1黒色土 (EP42)と同じ 明黄褐色土粒を若干含む
- 3 10YR2/1黒色土 褐色砂を(10YR4/6)ブロック状に多量に含む
- 4 7.5YR2/1黒色土 褐色砂(10YR4/6)の溜りあり
- 5 7.5YR2/1黒色土 4との境に褐色砂粒を少量含む。その量は若干異なる

EP46

- 1 10YR2/1黒色土 10YR5/4Cにぶい黄褐色粘質土を若干含む
- 2 7.5YR2/1黒色土 10YR5/4Cにぶい黄褐色砂の溜りあり
- 3 7.5YR2/1黒色土 にぶい黄褐色砂をブロック状、粒状に含む
- 4 7.5YR2/1黒色土 10YR5/4Cにぶい黄褐色砂を多量に含む

EP59

- 1 10YR2/1黒色土 黄褐色砂を少量含む
- 2 10YR5/6黄褐色砂 1の砂を多量に含む(塊状)
- 3 10YR2/1黒色土

SK69

- 1 10YR2/1黒色シルト 10YR5/2黄褐色粘土質シルト(地山)を露露り状に一部3×3m大のブロックで40%含む。しまっている
- 2 10YR2/1黒色土 地山を含むが1に比べ細かい。しまっている
- 3 10YR2/2黒褐色土 2と同じく地山を含むが2に比べ少ない
- 4 10YR2/1黒色土 地山が塊状に塊状している
- 5 10YR3/2黄褐色土 褐色粘土粒を多量に含む
- 6 7.5YR2/1黒色土 地山粒を若干含む
- 7 10YR2/1黒色土 地山粒を少量含む。塵を含む

EP101

- 1 10YR2/2黒褐色土 地山粒を少量含む
- 2 7.5YR2/1黒色土 均質
- 3 10YR2/2黒褐色土 1に比べ地山粒を多量に含む
- 4 10YR5/6黄褐色砂 1、5の土が少量に混入している
- 5 7.5YR2/1黒色土 2と同じ
- 6 7.5YR2/1黒色粘質土 地山粘土質土を多量に含む

EP102

- 1 10YR2/2黒褐色土 地山粒を含む
- 2 10YR2/2黒褐色土 地山ブロックを多量に含む
- 3 10YR2/2黒褐色土 木の根が中央に有り。根の可視性あり。地山粒を若干含む。2に比べやや深い

EP103

- 1 10YR2/2黒褐色土 地山粒土を少量含みしまっている
- 2 10YR3/2黄褐色土 地山粘土小粒を若干含む
- 3 10YR3/2黄褐色土 地山粘土小粒を多量に含む

SK7

- 1 黒褐色土 黄褐色土粒多く、黄褐色土少量混入
- 2 黒褐色土 黄褐色土少量混入
- 3 黒褐色土 黄褐色土粒多量。同ブロック少量。塊少量混入
- 4 灰黄色砂 地山
- 5 灰黄色砂 黒褐色土混入
- 6 黒褐色土 黄褐色土粒多量に混入

SK72

- 1 黒色土 黄褐色土ブロックを多く混入
- 2 黒色土 黄褐色土、黄褐色土ブロック多
- 3 黄褐色砂 黒色土混入

SK73

- 1 黒色土 黄褐色土ブロックをしまり混入
- 2 黄褐色砂 黒色土ブロックを少量混入

SK74

- 1 黒色土 黄褐色土粒をわずかに混入
- 2 黒色土 黄褐色土ブロック
- 3 黒色土 黄褐色土、白色土ブロック混入
- 4 黒色土 黄褐色土粒、黄褐色粘質土多量混入
- 5 黒色土 黄褐色粘質土多量に混入
- 6 黒色土 黄褐色土粒を多量に混入
- 7 黄褐色砂 黒色土わずかに混入

EP75

- 1 黒色土 黄褐色粘質土ブロック、白色ブロック
- 2 黄褐色砂

SK75

- 1 黒色土 黄褐色土粒を多く混入
- 2 黒色土 黄褐色砂を多量混入
- 3 灰黄色砂 黒色土混入
- 4 黄褐色砂 黒色土、白色土ブロックを多く混入

EP82

- 1 黒色土 黄褐色土ブロック多量
- 2 黒色土 黄褐色土、黄褐色土ブロック
- 3 灰黄色粘質土 黄褐色ブロック

EP83

- 1 黒色土 黄褐色土ブロックをまだらに含む
- 2 灰黄色粘質土 黒色土混入
- 3 灰黄色粘質土 黒色土粒、黄褐色砂を混入

EP84

- 1 黒色土 黄褐色土粒をわずかに
- 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック多量混入

SK85

- 1 黒色土 黄褐色土ブロック、黄褐色土粒多量混入
- 2 黄褐色土ブロック 黒色土わずかに混入
- 3 灰黄色砂
- 4 1とはほぼ同じだが黄褐色土ブロック少ない

SK87

- 1 黒色土 黄褐色土粒、同ブロック多
- 2 灰黄色粘質土 黄褐色土ブロック多、黒色土ブロック少
- 3 灰黄色粘質土 2よりも多く黄褐色土ブロック混入
- 4 暗褐色粘質土 黄褐色土ブロック多、黒色土ブロック多
- 5 暗褐色粘質土 4とはほぼ同じだが黄褐色土ブロック、黒色土ブロック少ない
- 6 黄褐色砂 地山?

SK93・SK90・SK89

- 1 黒色土 黄褐色土粒、同ブロックを少量混入
- 2 黒褐色土 黄褐色土ブロック、白色ブロック多量に混入。暗褐色砂を混入
- 3 黒色土 黄褐色土粒少量混入。暗褐色粘土混入
- 4 白色 黄褐色砂 地山
- 5 黒色土 黄褐色土粒多、同ブロック少。暗褐色粘土多量に混入

- 6 5とはほぼ同じだが暗褐色粘土、黄褐色土ブロックを5よりも多く混入
- 7 暗褐色粘土 黒色土少量混入
- 8 黒色土 黄褐色土ブロック、同粒多量混入
- 9 黄褐色土ブロック
- 10 黒色土 黄褐色土ブロック、同粒少量混入
- 11 黒色土 黄褐色土、黄褐色土ブロックを多量に混入。暗褐色粘土混入
- 12 地山?

SK81

- 1 黒色土 黄褐色砂少量混入
- 2 黄褐色砂 黒色土多量混入
- 3 黄褐色砂 黒色土少量混入
- 4 黒色土 黄褐色土ブロック少量混入
- 5 黄褐色砂 黒色土ブロック、黒色土混入
- 6 黄白色砂 黒色土粒少量混入
- 7 黄褐色砂 地山

SK71

- 1 黒色土 黄褐色土ブロック同粒を露露り状に混入
- 2 黒色土 黄褐色土ブロック多量
- 3 黒色土 2と似ているが暗褐色土が2よりも多い
- 4 黒色土 1と似ているが、1よりもさらに黒色土が多い
- 5 黒色土 黄褐色土粒多量混入

SK77

- 1 黒色土 黄褐色砂、白色粘質土ブロック混入しまりよくない
- 2 黒色土 黄褐色土、同粒多
- 3 黒色土 1とはほぼ同じ、しまりなし
- 4 黒色土 黄褐色砂を露露り状に混入
- 5 黄褐色粘土-灰黄褐色砂

SK90

- 1 黒色土 (黄褐色土粒を少量混入、同ブロック少量混入)
- 2 黒褐色土 (黄褐色土小ブロック多量混入)
- 3 黄褐色土多
- 4 黒褐色土 黄褐色土粒をわずかに混入
- 5 黄褐色土 黒色土少量混入
- 6 黄褐色土 地山

EP81

- 1 黒色土 黄褐色土粒少
- 2 黄褐色土ブロック多

SK97

- 1 黒色土 黄褐色土ブロック、同粒多量に混入
- 2 黒色土 黄褐色土粒わずかに混入
- 3 黄褐色土 黒色土粒少量混入

SK98

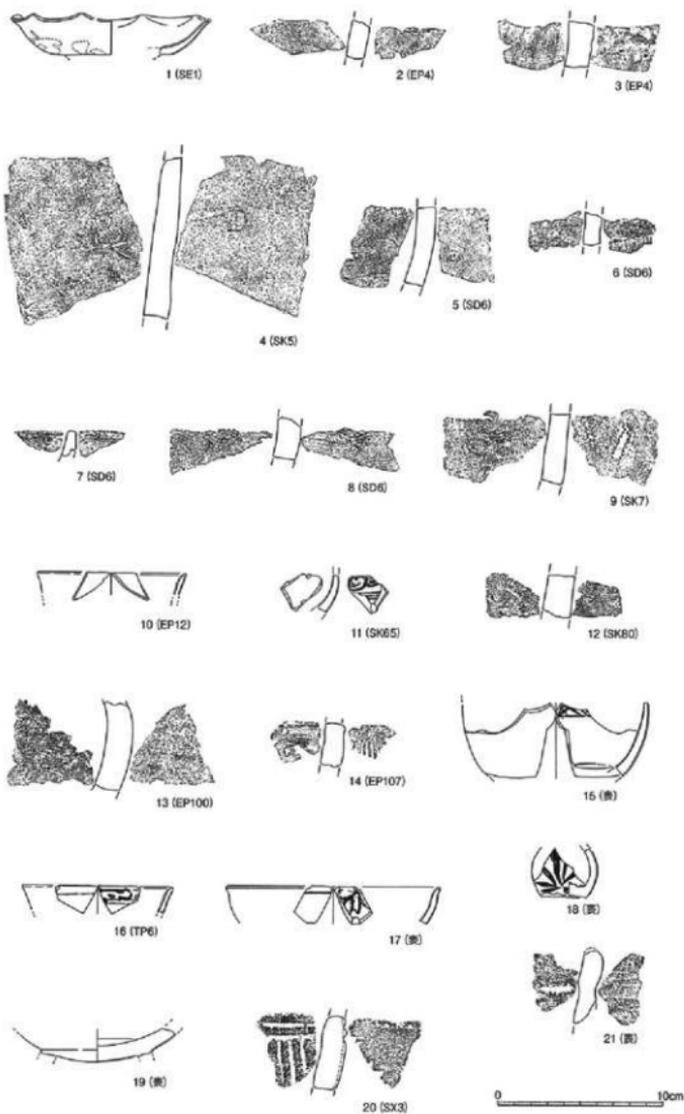
- 1 黄褐色土 黒色土シルトブロック多量混入
- 2 黒褐色土 黄褐色土ブロック混入

SK99

- 1 黒色土 黄褐色土粒、黄褐色土ブロック多量に混入
- 2 黒色土 黄褐色土粒多量、同ブロック少量混入
- 3 黄褐色土 黒色土粒混入
- 4 地山
- 5 黒色土 1とはほぼ同じだが1より黄褐色土ブロック多量に混入
- 6 5と同様だが黄褐色土ブロックが少くない

SK91

- 1 黒色土 白色粒多量に混入、黄褐色土少量混入
- 2 黒色土 黄褐色土ブロック、同粒多量に混入
- 3 黒色土 黄褐色土ブロック、同粒多量に混入



第9図 遺物図

V 調査のまとめ

今回の調査は平成4年度農免農道整備事業（舟戸地区）に係る記録保存のための緊急発掘調査である。調査面積は700㎡である。

発見された遺構は柱穴・井戸跡・土坑・溝跡などがあり、柱穴は約130基以上・土坑30基以上・溝1条・井戸跡1基が検出されている。他に旧羽州街道が調査区を横断している。

遺構の分布は街道の北側と南側では大きく違うことが確認された。北側では埋め戻された土坑や攪乱とも考えられるような遺構が多く、南側では橋跡と同時期中世に属すると見られる柱穴や土坑などが検出されている。

出土遺物は僅かであるが近世の陶磁器や中世陶器がある。これらは遺構内から出土したもので表土中の出土である。

上記のように調査区内の遺構と遺物の時期に中世と近世の2時期があるのは、橋が機能した中世の後、近世に至り街道が整備されたためと考えられる。

前記した様に名木沢橋跡は最上川の河岸段丘の縁を土塁と空堀で区画しており、主郭と副郭の二郭で構成されている。橋全体の大きさは推定東西140m×南北80mである。現在は副郭には部分的にしか空堀（二重堀）は廻っていないが当時は全体を囲っていたと考えられる。

虎口（出入口）は主郭の二箇所が明確に認められる。副郭の方は確認できなかったが、主郭同様に虎口があったことは間違いないと思われる。虎口は折り曲げられ、簡単に橋内に入り込めないよう工夫がなされている。

近年、最上川の流路が変わり流れが直接橋部分にぶつかるようになり、そのため少しずつ侵食され、崖が崩落し主郭が狭くなってきている。これから橋を保存活用していく上で残された課題のひとつである。

圖 版



遺跡遠景（南から）



遺跡遠景（北から）



調査前状況 (南から)



旧羽州街道 (北から)



旧羽州街道北側 遺構検出状況 (北から)



旧羽州街道北側 遺構検出状況 (南から)



旧羽州街道南側 遺構検出状況（北から）



旧羽州街道南側 完掘状況（南から）



旧羽州街道南側 完掘状況 (南から)



旧羽州街道南側 完掘状況 (北から)



旧羽州街道北側 完掘状況 (北から)



旧羽州街道北側 完掘状況 (南から)



SK7から東側（西から）



SD6から北側（西から）



SK89(右) SK90(左) (北から)



旧羽州街道 断面 (南西から)



SE1 検出状況 (東から)



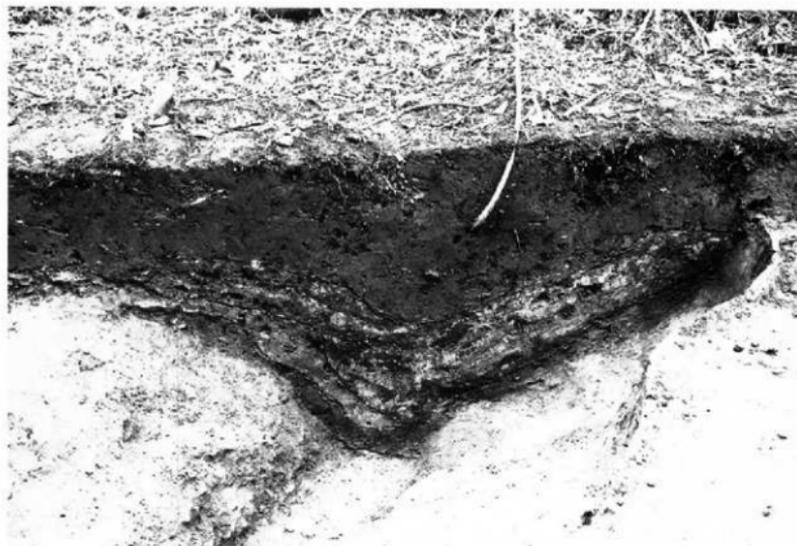
SE1 (東から)



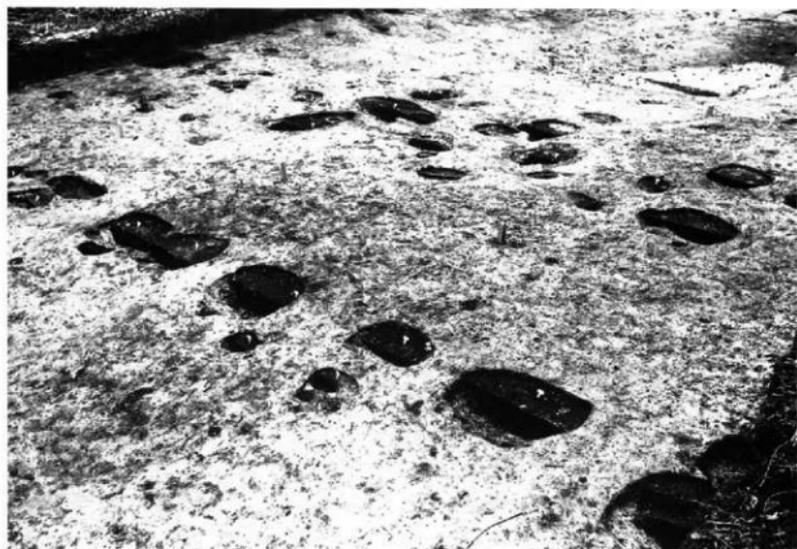
SD6 (東から)



SD6 (西から)



SD6西側断面（東から）



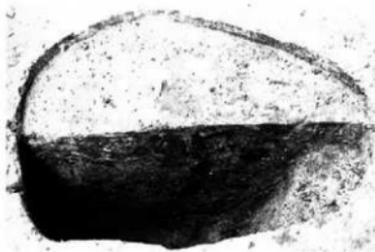
EP11~34（南東から）



SK7断面



SK71断面



SK82断面



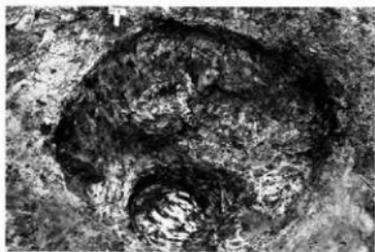
SK89断面



SK89・90断面



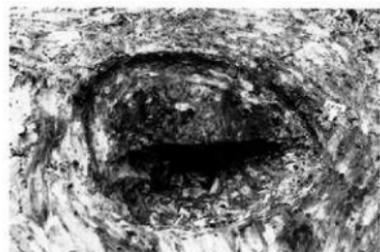
SK97断面



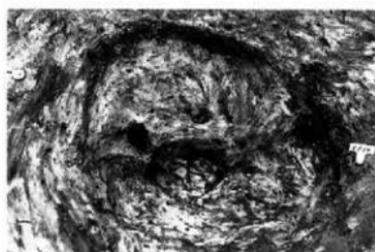
EP9完掘



EP9アタリ断面



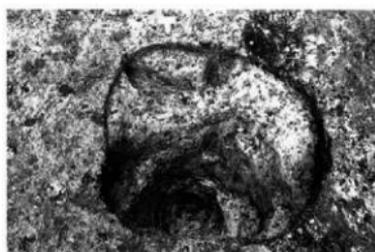
EP10断面



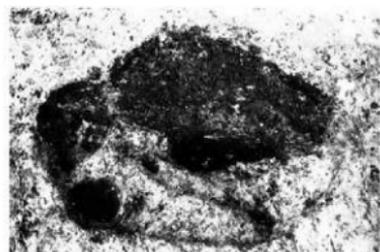
EP10完振



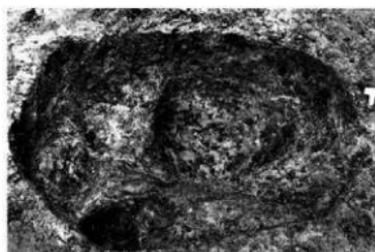
EP12断面



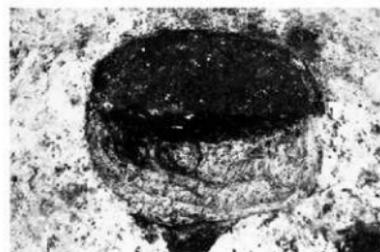
EP12完振



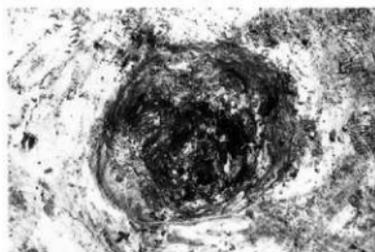
EP16断面



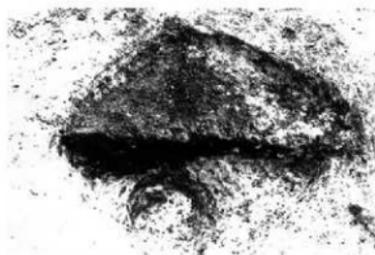
EP16完振



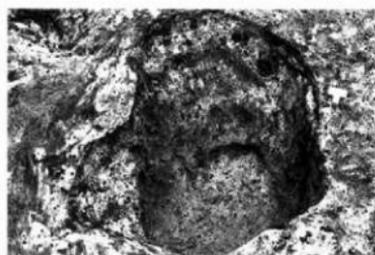
EP17断面



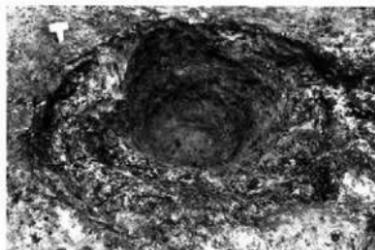
EP18完振



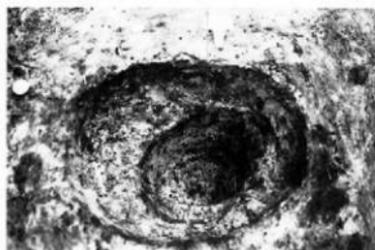
EP19断面



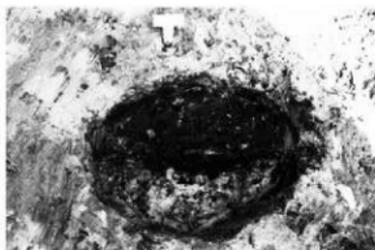
EP20完振



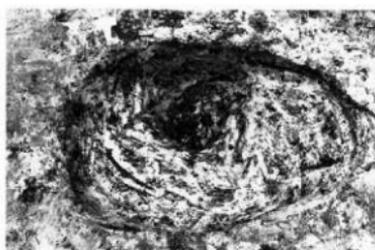
EP21完振



EP25完振



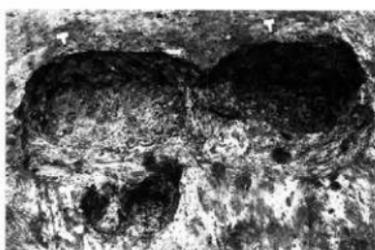
EP26完振



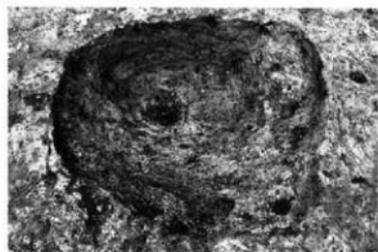
EP32完振



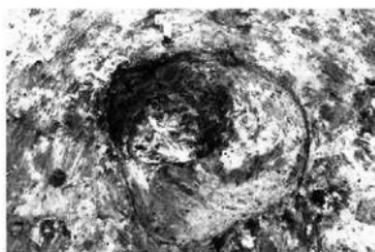
EP29~31断面



EP29~31完振



EP33完攝



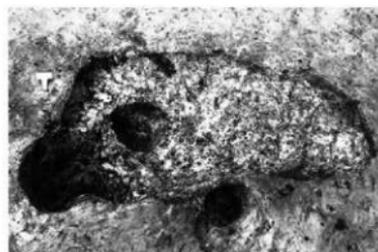
EP35完攝



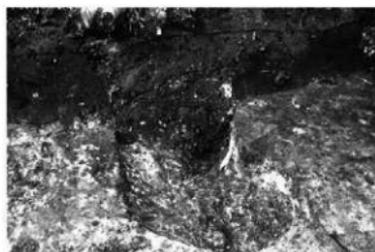
EP38完攝



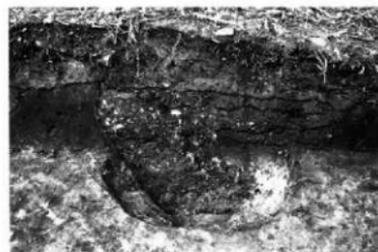
EP40断面



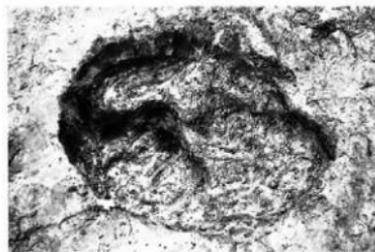
EP41完攝



SP65断面



SP66断面



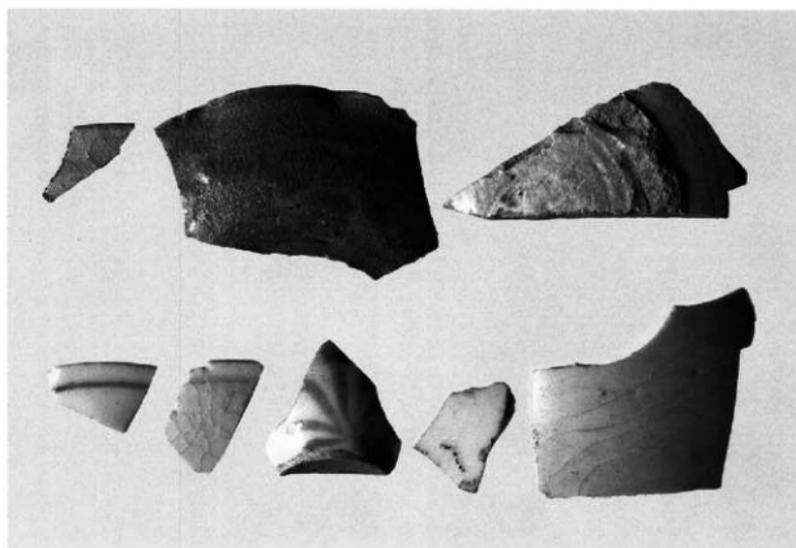
EP103完攝



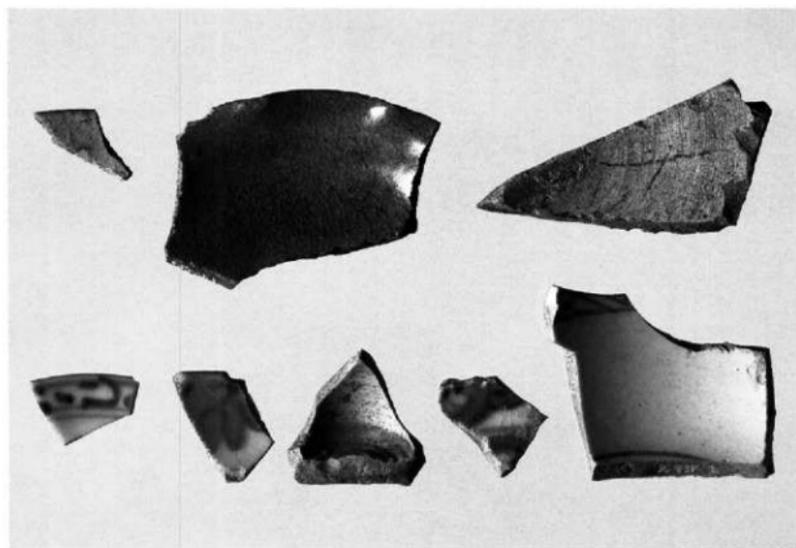
陶器 (外面)



陶器 (内面)



磁器 (外面)



磁器 (内面)



土層



空層

山形県埋蔵文化財調査報告書第188集

な ぎ きわ たて
名 木 沢 橋 跡
発 掘 調 査 報 告 書

平成5年3月25日 発行

発 行 山形県教育委員会

印 刷 株式会社 大風印刷
